

税金と教育

柏市立松葉中学校 第三学年 神原 七海

私が税金の意義を知ったのは学校でパソコンが一人一人に貸出されたことがきっかけでした。パソコンが貸与されたことでインターネット上での調べものが簡単になったり、パソコンの使い方が身についたりするなど情報技術がより身近になりました。私の妹は小学生ですが、小学生の妹にもパソコンは貸与されています。小さなころから情報技術に触れ、情報技術を身につけることは、今後大人になった際にきつと役立つだろうと思います。一方で、パソコンを一人一人全生徒の分を用意するとなると一体いくらお金がかかるのだろう。そして、そのお金は誰が払っているのだろうと不安にもなりました。そこで親に聞いてみたところ、それは税金で支払われていると教えてくれました。パソコンだけではなく私たちが学校で勉強するうえで欠かせない教科書、3年間部活として取り組んできた剣道をやるための武道場、そして学校そのものの維持費もすべて税金から支払われていると教えてくれました。

正直、それまで私は税金が何に使われているのかということ考えたことはありませんでした。お菓子や服などを買うと子供でも消費税を払っており、どちらかという税金はとられるものというイメージでした。そのため、私は税金に対してあまりいいイメージを持っていませんでした。でも、税金があるおかげで私たちは豊かな教育を受ける事が出来ていることを知りました。

今、世界で不自由なく教育を受けられている国はどれくらいあるのでしょうか。私は昨年の人権作文でアフガニスタンに関して調べました。アフガニスタンでは教師や学校の施設の不足、家庭が貧困であることなどを理由に、いまだ多くの子どもたちが学校教育を受けられていません。また、長く続く紛争やテロなどにより、校舎のない青空教室で学んでいる子どももたくさんいます。日本では、中学生なら誰でも教育を受けることができます。学校にもエアコンがあり、青空の下で授業を受けることもあります。学校に通うための道路もきれいに整備されて安全に通うことができます。また、高校や大学に通いたいと思えば、補助金で奨学金などの制度があることも親から教えてもらいました。これらのお金は税金で支払われています。つまり、税金によって私たちの教育は守られているのだと知りました。

これまで身近でなかった税金、良いイメージを持っていなかった税金ですが、その税金が私たちの学校生活を守ってくれていることを知り、その大切さを感じました。私が将来大人になった際はきちんと税金をおさめ、子供たちが安心して通える環境を守っていききたいと思います。